

面会交流調停を申し立てる方へ

1 概要

別居中又は離婚後、子どもを監護していない親は、子どもを監護している親に対して、子どもとの面会交流を求めて調停を申し立てることができます。また、一度決まった面会交流であっても、その後に事情の変更があった場合（子どもの年齢、状況等に相当変化があった場合など）には、面会交流の内容、方法等の変更を求める調停を申し立てることができます。

円滑な面会交流の実施は子どもの健全な成長にとって大切なものですので、調停手続では、申立人（あなた）及び相手方からお話をお聴きしたり、必要に応じて書類を提出していただいたりして、申立人、相手方及び子どもの状況等を把握しながら、双方の合意を目指して話し合いを進めます。

話し合いによる解決ができずに調停が終了（不成立）した場合には自動的に審判手続が開始され、裁判官が一切の事情を考慮して、審判をすることになります。

2 申立てに必要な費用

- ☐ 申立手数料・・・面会交流を求める子ども1人につき収入印紙1200円分
- ☐ 連絡用の郵便切手・・・776円分（84円切手：5枚、50円切手：4枚、20円切手：4枚、10円切手：7枚、1円切手：6枚）

3 申立てに必要な書類

裁判所には、次の書類を提出していただくことになりますが、必要に応じて申立人（あなた）用の控えをとり、調停期日には持参してください。

☐ 申立書

※ 申立書は、法律の定めにより相手方に送付することになりますので、裁判所提出分のほかに、相手方用のコピー1通を提出してください。

- ☐ 事情説明書、お子さんについての事情説明書（未成年の子がいる場合に提出してください。）
- ☐ 連絡先等の届出書
- ☐ 進行に関する照会回答書
- ☐ 子どもの戸籍謄本（全部事項証明書）→ 3か月以内に発行されたもの

4 申立先

相手方の住所地を管轄する裁判所となります。

ただし、相手方との間で、調停を行う家庭裁判所を合意しており、申立書とともに管轄合意書を提出した場合には、その家庭裁判所でも調停を行うことができます。

お問い合わせ先

盛岡家庭裁判所

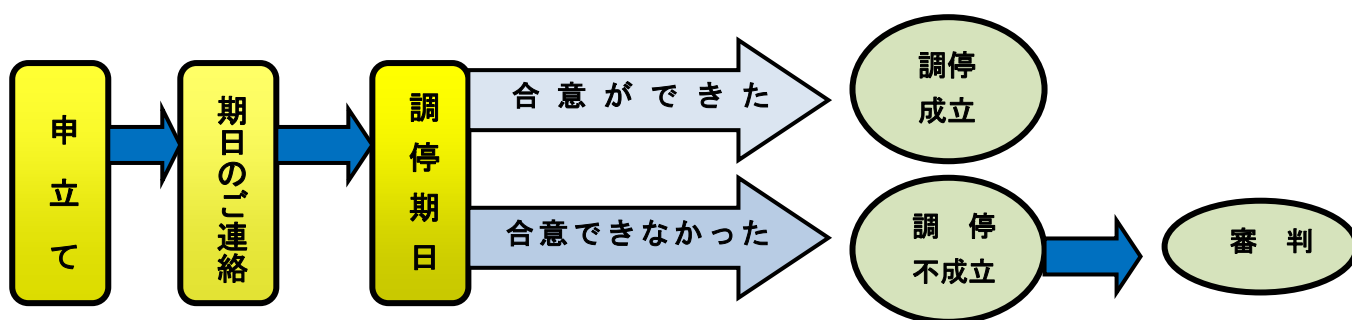
盛岡市内丸9番1号(電話019-622-3458, 3449)

※ 裏面もお読みください。

5 調停の進め方について

調停の流れは下図のとおりです。調停は、平日に行われ、1回あたりの時間はおおむね2時間程度です。調停では、それぞれの待合室でお待ちいただき、交互又は同時に調停室に入ってもらい、調停委員が中立の立場で、それぞれのお話をお聴きしながら話し合いを進めていくことになります。

なお、必要に応じて、家庭裁判所調査官が、調停期日に立ち会ったり、調停期日の間に未成年の子ども意向や状況等について調査を行う場合もあります。



6 調停手続で必要な書類の提出方法

- (1) 調停では、必要に応じて、あなたの言い分を裏付ける資料等を提出していただくことがあります。調停委員の指示にしたがってください。
- (2) 書類を提出するときは、提出する書類のコピーを1通とり、そのコピーを裁判所に提出してください。調停期日には、裁判所に提出したコピーのもとになった書類を持参してください。相手方に交付したい書類を提出するときは、さらに相手方用のコピーも提出してください。
- (3) 相手方に知られたくない情報（たとえば、源泉徴収票に記載された住所や勤務先名など）がある書類を提出する場合は、コピーにマスキング（黒塗り）してください（裁判所用及び相手方用のコピー2通とも同様に作成してください。）。
- (4) 提出予定の書類の一部に、相手方に知られたくないが、裁判所に知らせる必要がある情報が記載されている場合は、書面の提出方法Q&A及びチャート図「相手方など関係者に知られたくない情報がある方へ」を参照して、非開示申出をしてください。申立書は、裁判所の窓口に用意されているほか、ウェブサイト（<http://www.courts.go.jp/>）からダウンロードして利用することができます（前記アドレスにより表示される裁判所のトップページから「各地の裁判所」→「盛岡地方裁判所・盛岡家庭裁判所」→「裁判手続を利用する方へ」→「手続案内」のページを参照してください。）。

7 提出された書類の閲覧・謄写（見せたり、コピーさせたりすること）について

相手方から閲覧・謄写の申請があった場合、これを許可するかどうかは裁判官が判断します。そのため、提出された書類について、相手方に見せたり、コピーさせたりするのは困るという申し出があっても閲覧・謄写が許可されることがあります。なお「事情説明書」「お子さんについての事情説明書」は、原則として閲覧・謄写の対象となります。

また、調停が不成立となり、審判手続が開始された場合、審判のために必要な書類については、調停手続では閲覧・謄写の申請が許可されなかった書類であっても、審判手続で、あらためて閲覧・謄写の申請があれば、原則として許可されますので、留意してください。

記入例 離婚後、父から母に対して子の面会交流に関する調停を申し立てる場合

申立書を提出する裁判所

作成年月日

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

受付印		家事 <input checked="" type="checkbox"/> 調停 <input type="checkbox"/> 審判	申立書	子の監護に関する処分 (面会交流)
(この欄に未成年者1人につき収入印紙1,200円分を貼ってください。)				
印紙				
(貼った印紙に押印しないでください。)				
収入印紙	円			
予納郵便切手	円			

申立書の写しは相手方に送付されますので、あらかじめご了承ください。

令和 〇 年 〇 月 〇 日	家庭裁判所 御中	申立人 (又は法定代理人など) の記名押印	丙 山 一 郎	印
----------------	-------------	-----------------------------	---------	---

添付書類	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) <input type="checkbox"/> 未成年者の戸籍謄本(全部事項証明書) <input type="checkbox"/>	準口頭
------	---	-----

申立人	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 (〇〇マンカン〇号)		
	フリガナ氏名	イ ヤ マ イ チ ロウ 丙 山 一 郎 昭和 〇〇 年 〇 月 〇 日生 (〇〇 歳)		
相手方	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 (〇〇 方)		
	フリガナ氏名	テ ィ ダ ア キ コ 丁 田 秋 子 昭和 〇〇 年 〇 月 〇 日生 (〇〇 歳)		
未成年者	住所	<input type="checkbox"/> 申立人と同居 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 相手方と同居	平成 〇〇 年 〇 月 〇 日生 (〇 歳)
	フリガナ氏名	テ ィ ダ ア 翔 太 丁 田 翔 太		
	住所	<input type="checkbox"/> 申立人と同居 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 相手方と同居	平成 令和 年 月 日生 (歳)
	フリガナ氏名			
	住所	<input type="checkbox"/> 申立人と同居 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 相手方と同居	平成 令和 年 月 日生 (歳)
	フリガナ氏名			
住所	<input type="checkbox"/> 申立人と同居 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 相手方と同居	平成 令和 年 月 日生 (歳)	
フリガナ氏名				

裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。
ご不明な点があれば、申立書を提出される裁判所にお問
い合わせください。

面会交流を求めたい未成年の子について記入してください。

(注) 太枠の中だけ記入してください。 □の部分には、該当するものにチェックしてください。

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

(注) □の部分は、該当するものにチェックしてください。

申立 てる の 趣 旨
(<input checked="" type="checkbox"/> 申立人 / <input type="checkbox"/> 相手方) と未成年者が面会交流する時期、方法などにつき (<input checked="" type="checkbox"/> 調停 / <input type="checkbox"/> 審判) を求めます。

申 立 て の 理 由	
申 立 人 と 相 手 方 の 関 係	
<input checked="" type="checkbox"/> 離婚した。 <input type="checkbox"/> 父が未成年者を_____を認知した。 <input type="checkbox"/> 婚姻中→監護者の指定の有無 <input type="checkbox"/> あり (<input type="checkbox"/> 申立人 / <input type="checkbox"/> 相手方) / <input type="checkbox"/> なし	その年月日：平成・ 令和 8 年 9 月 9 日
未成年者の親権者（離婚等により親権者が定められている場合）	
<input type="checkbox"/> 申立人 / <input checked="" type="checkbox"/> 相手方	
未 成 年 者 の 監 護 養 育 状 況	
<input type="checkbox"/> 平成・令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日から平成・令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日まで <input type="checkbox"/> 申立人 / <input type="checkbox"/> 相手方 / <input type="checkbox"/> その他 (_____) のもとで養育	
<input type="checkbox"/> 平成・令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日から平成・令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日まで <input type="checkbox"/> 申立人 / <input type="checkbox"/> 相手方 / <input type="checkbox"/> その他 (_____) のもとで養育	
<input checked="" type="checkbox"/> 平成・ 令和 8 年 9 月 9 日から現在まで <input type="checkbox"/> 申立人 / <input checked="" type="checkbox"/> 相手方 / <input type="checkbox"/> その他 (_____) のもとで養育	
面 会 交 流 の 取 決 め に つ い て	
1 当事者間の面会交流に関する取決めの有無 <input type="checkbox"/> あり (取り決めた年月日：平成・令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日) / <input checked="" type="checkbox"/> なし	
2 1で「あり」の場合 (1) 取決めの方法 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <input type="checkbox"/>口頭 <input type="checkbox"/>念書 <input type="checkbox"/>公正証書 <input type="checkbox"/>調停 <input type="checkbox"/>審判 <input type="checkbox"/>和解 <input type="checkbox"/>判決 → </div> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px; margin-left: 10px;"> _____ 家庭裁判所 (<input type="checkbox"/>支部 / <input type="checkbox"/>出張所) 平成・令和 _____ 年 (家 _____) 第 _____ 号 </div> </div>	
(2) 取決めの内容 (_____)	
面 会 交 流 の 実 施 状 況	
<input type="checkbox"/> 実施されている。 <input type="checkbox"/> 実施されていたが、実施されなくなった。(平成・令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日から) <input checked="" type="checkbox"/> これまで実施されたことはない。	
本 申 立 て を 必 要 と す る 理 由	
<input checked="" type="checkbox"/> 相手方が面会交流の協議等に応じないため <input type="checkbox"/> 相手方と面会交流の協議を行っているがまとまらないため <input type="checkbox"/> 相手方が面会交流の取決めのとおり実行しないため <input type="checkbox"/> その他 (_____)	

なお、この書類は、相手方には送付しませんが、相手方から申請があれば、閲覧やコピーが許可されることがあります。

令和 年 月 日 申立人 印

お子さんについての事情説明書

この書類は、申立人と相手方との間に未成年のお子さんがある場合に記載していただくものです。あてはまる事項にチェックをつけ、空欄に具体的に記入して、申立ての際に提出してください。

なお、この書類は、相手方には送付しませんが、相手方から申請があれば、閲覧やコピーが許可されることがあります。

1 現在お子さんを主に監護している人は誰ですか。	<input type="checkbox"/> 申立人 <input type="checkbox"/> 相手方 <input type="checkbox"/> その他（ ）
2 お子さんと別居している場合、別居している父または母と子の関係について、記入してください。 * お子さんと申立人及び相手方が同居している場合には記載する必要はありません。	<input type="checkbox"/> 別居している父または母と会っている。 <input type="checkbox"/> 別居している父または母と会っていないが、電話やメールなどで連絡を取っている。 <input type="checkbox"/> 別居している父または母と会っていないし、連絡も取っていない。 →上記のような状況となっていることについて理由などがあれば、記載してください。
3 お子さんに対して、離婚等について裁判所で話し合いを始めることや、今後の生活について説明したことはありますか。	<input type="checkbox"/> 説明したことはない。 <input type="checkbox"/> 説明したことがある。 →説明した内容やそのときのお子さんの様子について、裁判所に伝えておきたいことがあれば、記載してください。
4 お子さんについて、何か心配していることはありますか。	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある →心配している内容を具体的に記載してください。
5 お子さんに関することで裁判所に要望があれば記入してください。	

進行に関する照会回答書（申立人用）

この書面は、調停を進めるための参考にするものです。他の当事者に写しを送付したり、見せたりすることはありません。あてはまる事項にチェックをつけ(複数可)、空欄には具体的な事情等を記入して、申立ての際に提出してください。

1 この申立てをする前に相手方と話し合ったことがありますか。	<input type="checkbox"/> ある。(そのときの相手方の様子にチェックしてください。) <input type="checkbox"/> 感情的で話し合えなかった。 <input type="checkbox"/> 冷静であったが、話し合いはまとまらなかった。 <input type="checkbox"/> 態度がはっきりしなかった。 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> ない。(その理由をチェックしてください。) <input type="checkbox"/> 全く話し合いに応じないから。 <input type="checkbox"/> 話し合っても無駄だと思ったから。 <input type="checkbox"/> その他 ()	
2 相手方は裁判所の呼出しに応じると思いますか。	<input type="checkbox"/> 応じると思う。 <input type="checkbox"/> 応じないと思う。 <input type="checkbox"/> 分からない。	(理由等があれば、記載してください。)
3 調停での話し合いは円滑に進められると思いますか。	<input type="checkbox"/> 進められると思う。 <input type="checkbox"/> 進められないと思う。 <input type="checkbox"/> 分からない。	(理由等があれば、記載してください。)
4 この申立てをすることを相手方に伝えていますか。	<input type="checkbox"/> 伝えた。 <input type="checkbox"/> 伝えていない。 <input type="checkbox"/> すぐ知らせる。 <input type="checkbox"/> 自分からは知らせるつもりはない。 <input type="checkbox"/> 自分からは知らせにくい。	
5 相手方の暴力等がある場合には、記入してください。	1 相手方の暴力等はどのような内容ですか。 <input type="checkbox"/> 大声で怒鳴る・暴言をはく。 <input type="checkbox"/> 物を投げる。 <input type="checkbox"/> 殴る・蹴る。 <input type="checkbox"/> 凶器を持ち出す。 (1) それはいつ頃のことですか。 _____ 頃 から _____ 頃 まで (2) 頻度はどのくらいですか。 _____ 回 2 相手方の暴力等が原因で治療を受けたことはありますか。 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある (ケガや症状等の程度) 3 配偶者暴力に関する保護命令について、該当するものをチェックしてください。 <input type="checkbox"/> 申し立てる予定はない。 <input type="checkbox"/> 申し立てる予定である。 <input type="checkbox"/> 申し立てたが、まだ結論はでていない。 <input type="checkbox"/> 申し立てたが、認められなかった。 <input type="checkbox"/> 認められた。 ※保護命令書の写しを提出してください。 4 相手方の調停時の対応について <input type="checkbox"/> 裁判所で暴力をふるうおそれはない。 <input type="checkbox"/> 申立人と同席しなければ暴力をふるうおそれはない。 <input type="checkbox"/> 裁判所職員や第三者のいる場所でも暴力をふるうおそれがある。 <input type="checkbox"/> 裁判所への行き帰りの際に暴力をふるうおそれがある。 <input type="checkbox"/> 裁判所に凶器を持ってくるおそれがある。 <input type="checkbox"/> 裁判所へ薬物、アルコール類を飲んでくるおそれがある。	
6 調停期日の差し支え日等があれば書いてください。	申立人の <input type="checkbox"/> 希望日 曜日 午前・午後 <input type="checkbox"/> 差し支え日 曜日 午前・午後 (すでに差し支えることがわかっている日→) <hr/> 相手方の <input type="checkbox"/> 希望日 曜日 午前・午後 <input type="checkbox"/> 差し支え日 曜日 午前・午後 (※分からなければ記載しなくてもかまいません。)	
※ 調停は平日の午前または午後に行われます。		
7 裁判所に配慮を求めることがありますか。		

書面の提出方法Q & A（非開示希望編）

Q1

相手方や利害関係人に住所や電話番号を知られたくありません。申立書に住所や電話番号を記載する欄がありますが、どうしたらいいですか？

知られたくない住所等は記載しないでください。電話番号は空欄でも構いません。

申立書には知られてもよい住所等を記載してください。裁判所からの連絡は「連絡先等の届出書」に記載された住所や電話番号に行いますので、**非開示を希望する項目にチェックを入れて提出してください。**

弁護士に委任する場合には、委任状にも知られたくない住所は記載しないでください。

Q2

提出予定の書面(申立書を除く。)の一部に、**裁判所に知らせる必要がなく**、他の当事者や利害関係人に知られたくない情報が記載されています。どのように提出すればいいですか？ 例)診断書の住所、源泉徴収票の住所など

※マイナンバーの記載は不要です(マイナンバーに関する説明書を参照してください。)

書面をコピーするなどして該当箇所にマスキング（黒塗り）をして提出してください。

住所等だけでなく、**住所等を推知させる情報**(例:子の学校名、住所近隣の施設名、写真の背景)の**マスキングも忘れず**にしてください。提出後にマスキングをすることはできません。

Q3

提出予定の書面(申立書を除く。)の一部に、**裁判所に知らせる必要があり**、他の当事者や利害関係人に知られたくない情報が記載されています。どのように提出すればいいですか？

「非開示の希望に関する申出書」を作成して提出してください。

「非開示の希望に関する申出書」に必要事項を記入し、提出する書面をコピーした上で、非開示希望部分をマーカーなどで特定した上で、申出書と提出する書面を**留めて一体として提出してください**。ただし、申出をした場合でも、他の当事者等からの閲覧謄写請求が認められる場合もあります(Q4参照)。

Q4

非開示希望の申出をすれば、他の当事者や利害関係人に開示されませんか？

開示される可能性があります。

他の当事者等から閲覧や謄写(コピー)の請求がされた場合、裁判所は、**法律の規定に従って、認める、認めない**を判断することになります(※)。開示される可能性があることを念頭に置いて、本当にその書面を裁判所に提出する必要があるかどうか、慎重に検討してください。 ※家事事件手続法47条3項及び4項、254条3項

Q5

書面提出時に「非開示の希望に関する申出書」を添付しなかった場合、当該書面はどのように扱われますか？

他の当事者等への非開示を希望しない書面として扱います。

閲覧や謄写(コピー)の請求がされた場合、**書面提出者への照会はいたしません**のでご注意ください。

具体的な書面の提出方法は、各係までお問い合わせください。

盛岡家庭裁判所 調停係 019-622-3458

審判係 019-622-3452

後見係 019-622-3457

相手方など関係者に知られたくない情報がある方へ



提出する書面の中の
知られたくない情報は
住所・電話番号
ですか？

いいえ



裁判所に知
らせる必要
がある情報
を含んだも
のですか？

いいえ

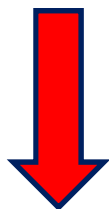


Q2

**マスキング
(黒塗り)**
して提出し
てください

Q1

はい



申立書やその他提出書面には
現住所等は記載しないでくださ
い(連絡先等の届出書は除く)

※ 調停では申立書の写しを原則相手
方に送付します

「連絡先等の届出書」の非開示
希望欄にチェックしてください」

はい



Q3

「非開示の
希望に関す
る申出書」
を提出してく
ださい

Q4・5

非開示申出をして
も法律の定めによ
り※閲覧謄写が許
可される場合があ
ります

※ 閲覧謄写とは、当事者や利害関係
人が記録を見たりコピーすることです。

詳細はQ&Aを参照ください

平成 年（家 ）第 号

非開示の希望に関する申出書

1 別添の書面については、非開示とすることを希望します。

※ 非開示を希望する書面ごとにこの申出書を作成し、本申出書の後に当該書面をステープラー（ホチキスなど）などで付けて一体として提出してください。

※ 資料の一部について非開示を希望する場合は、当該資料をコピーした上で、その部分が分かるようにマーカーで色付けするなどして特定してください。

※ **非開示を希望しても、裁判官の判断により開示される場合もありますので、あらかじめご了承ください。**なお、連絡先等の届出書について非開示を希望する場合には、原則として開示により当事者や第三者の私生活・業務を害するおそれがあると解し、開示することはしない取扱いになっています。

2 非開示を希望する理由は、以下のとおりです（当てはまる理由にチェックを入れてください。複数でも結構です。）。

- ☐ 事件の関係人である未成年者の利益を害するおそれがある。
- ☐ 当事者や第三者の私生活・業務の平穩を害するおそれがある。
- ☐ 当事者や第三者の私生活についての重大な秘密が明らかにされることにより、その者が社会生活を営むのに著しい支障を生じるおそれがある。
- ☐ 当事者や第三者の私生活についての重大な秘密が明らかにされることにより、その者の名誉を著しく害するおそれがある。
- ☐ その他（具体的な理由を書いてください。）

.....
.....
.....

平成 年 月 日

氏 名 _____ 印

今後、裁判所があなた宛に書類を送付したり、連絡をする際の、「送付場所」や「平日昼間の連絡先」を記載してください。この書面は、非開示の希望の有無に関わらず提出してください。

一度届け出た連絡先等に変更が生じた場合には、再度この書面を提出してください。

☐ (家イ)

平成 年 第 号

☐ (家)

連絡先等の届出書 (□変更届)

平成 年 月 日

☐ 申立人 / ☐ 相手方 ☐ 代理人 氏名： _____ 印

1 送付場所

標記の事件について、書類は次の場所に送付してください。

☐ 申立書記載の住所のとおり

☐ 委任状記載のとおり

☐ 下記の場所

〒

場所： _____

場所と本人との関係：☐ 住所 ☐ 就業場所 (勤務先)

☐ その他 _____

2 平日昼間の連絡先

携帯電話番号： _____

固定電話番号 (□自宅 / □勤務先)： _____

☐ どちらに連絡があってもよい。

☐ できる限り、☐ 携帯電話 / ☐ 固定電話への連絡を希望する。

3 非開示の希望

☐ 上記1の送付場所について、非開示を希望する。

☐ 上記2の電話番号 (□携帯 / □固定) について、非開示を希望する。

非開示とは、反対当事者 (申立人であれば相手方、相手方であれば申立人) に知られたくない情報を反対当事者に見せないことです。反対当事者に知られたくない情報 (住所や電話番号) がある場合には、申立書等には記載せず、本書面に記載し、「3 非開示の希望」の非開示を希望する情報のチェックボックスに、チェックをしてください。